

山路を登りながら、  
えた。

智に働けば角が立つ  
情に任せば疏る

住みにくさが高じると

詩が生れて、画が出来

人の世を作ったもの

の人である。ただの人

の国へ行くばかり

越す事のならぬ

の間でも住みよく

あらゆる芸術の士は

住みにくき世から

である。画である

りに見れば、そこ

画架に向つて全

霊台の方



彫刻である。こまかに云

歌も湧く。着想を紙に落さぬとも瑛鏘の音は胸裏

彩の絢爛は自から心眼に映る。ただおのが住む世を

の俗界を清くうららかに収め得れば足る。この故に

尺縑なきも、かく人世を觀じ得るの点において、かく

東

家と

をまのあた

いを引

彫刻である

歌も湧く

彩の絢爛

の俗界を

尺縑なきも